

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年7月8日 NO.12

学校花壇の増設 その1

国立第七小学校の校庭は、とても広くその形もよく、子ども達にとってとてもよい環境なのに、校長室から見ながら、いつも感じていたのは、何か足りないなあということでした。春に桜が満開となり、目を楽しませてくれますが、その後、緑の葉が茂るのはよいのですが、その後はあまり変化がありません。秋冬と木の葉が散ると荒涼とした雰囲気でもあり、寂しさを感じていました。そこで、今年度より、花壇を増設することにしました。さて、どこに作るかと校庭を歩きながら考えたところ、体育館南のサンゴジュという樹木とプラタナスが植えてある所にまず目をつけました。よく見ると、何十年も子ども達が歩き踏み固めてしまった土は、簡単には掘り起こすことはできません。本当に困ってしまったので、ユンボという大型機器で、掘り起こし作業をしていただきました。ユンボ所有のSさんには心から感謝いたします。あっという間に、校庭の固い土の部分も掘り起こしてもらいました。



掘り起こした所をさらにスコップで耕したり、大きな石を取りのぞいたりする作業を一生懸命にやってもらった6年生はとても立派であると感心しました。その後、1年生にコスモス・2年生にヒマワリの苗を植えてもらいました。かわいくステキな柵も購入し、すばらしい花壇にと変身させることができました。この場所は、全校児童が毎朝登校して歩くメインの場所でもあり、季節になれば、きれいな花が咲いて子ども達を迎えてくれることでしょう。写真は、校庭南の花壇づくりの様子です。

